

## DEGAM 鶴岡ICTアンケート調査概要(令和4年度第3四半期)

### 【令和4年10月～12月の概況】

- ・年代別の割合では、前期との比較で60代の割合が増加し、50代と同率の25.6%で最も多い割合となった。
- ・居住地別の割合では、前期との比較で、首都圏3県（埼玉県・千葉県・神奈川県）及び隣県（秋田県・福島県・新潟県）の割合が増加した。
- ・一人当たりの予算（宿泊費）については、前期に続き2万円超の割合が最も多くなった。
- ・旅行期間については、前期との比較で1泊2日の割合が増加した。

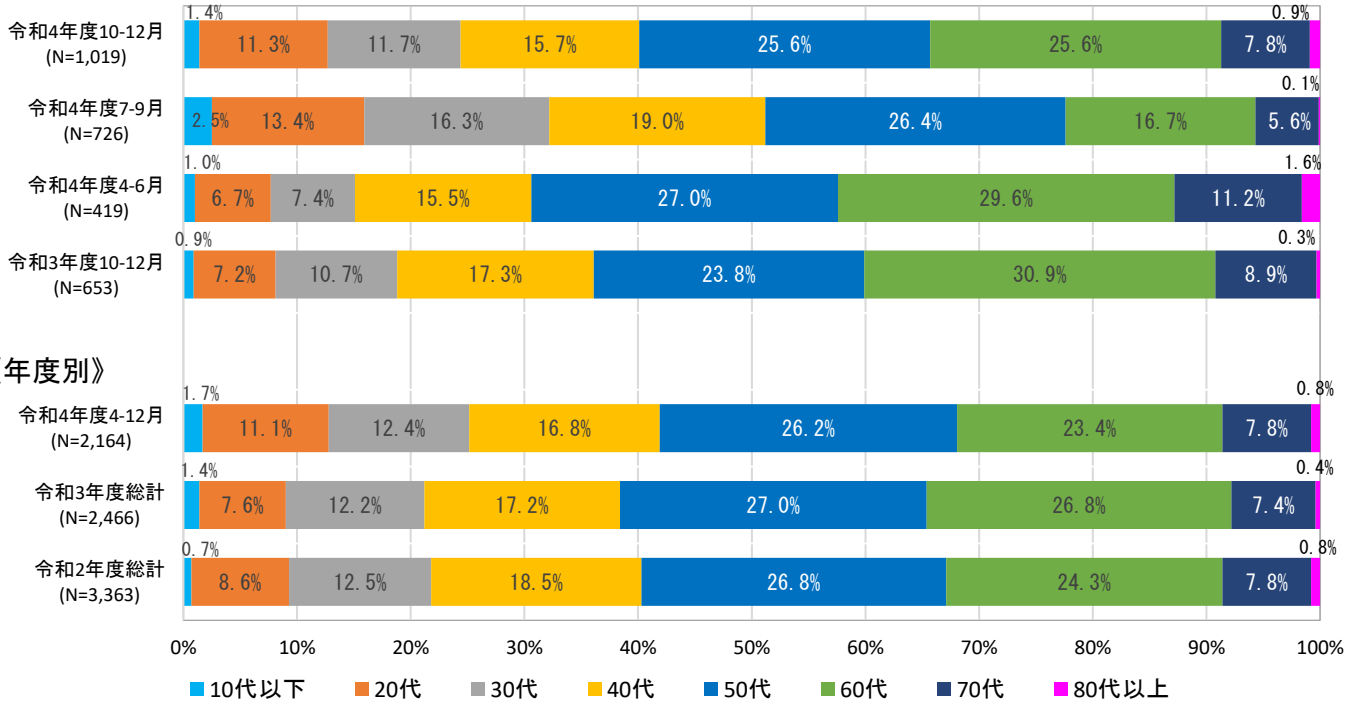
### 【主な傾向など】

- アンケートの回答者（アクセス数）は、令和4年度第3四半期（10～12月）では1,058人となり、前期比で301人の増加となった。
- 年代別の割合では、60代の割合が前期比で8.9ポイント増加し25.6%で、同率の50代と並んで最多、次いで40代が15.7%（前期比▲3.3ポイント）となった。  
また、20代（11.3%、同▲2.1ポイント）及び30代（11.7%、同▲4.6ポイント）の割合は前期より減少したものの、前年同期を上回っている。  
[ 図表① ]
- 居住地別の割合では、エリア別で、首都圏3県（埼玉県・千葉県・神奈川県）の割合が19.4%（前期比+5.5ポイント）、隣県（秋田県・福島県・新潟県）の割合が18.0%（同+6.7ポイント）に増加した。  
都道府県別では、山形県（22.6%、同▲2.2ポイント）、宮城県（13.2%、同▲1.7ポイント）、東京都（11.0%、同▲3.6ポイント）の順となった。  
[ 図表② ]
- 一人当たりの予算については、2万円超の割合が30.9%（前期比▲4.6ポイント）で、引き続き最多となった。  
[ 図表③ ]
- 旅行日数では、1泊2日の割合が前期比で9.8ポイント増の54.6%となる一方、2泊以上の割合が10.0ポイント減の計31.2%となった。  
[ 図表④ ]
- 全体的に、夏季休暇を含む前期と比べて宿泊日数の減少や家族旅行の減少などの傾向が表れた。一方、前年同期と比較して、20代・30代の若年層の増加やはじめての鶴岡来訪者の増加などの特徴が見られる。

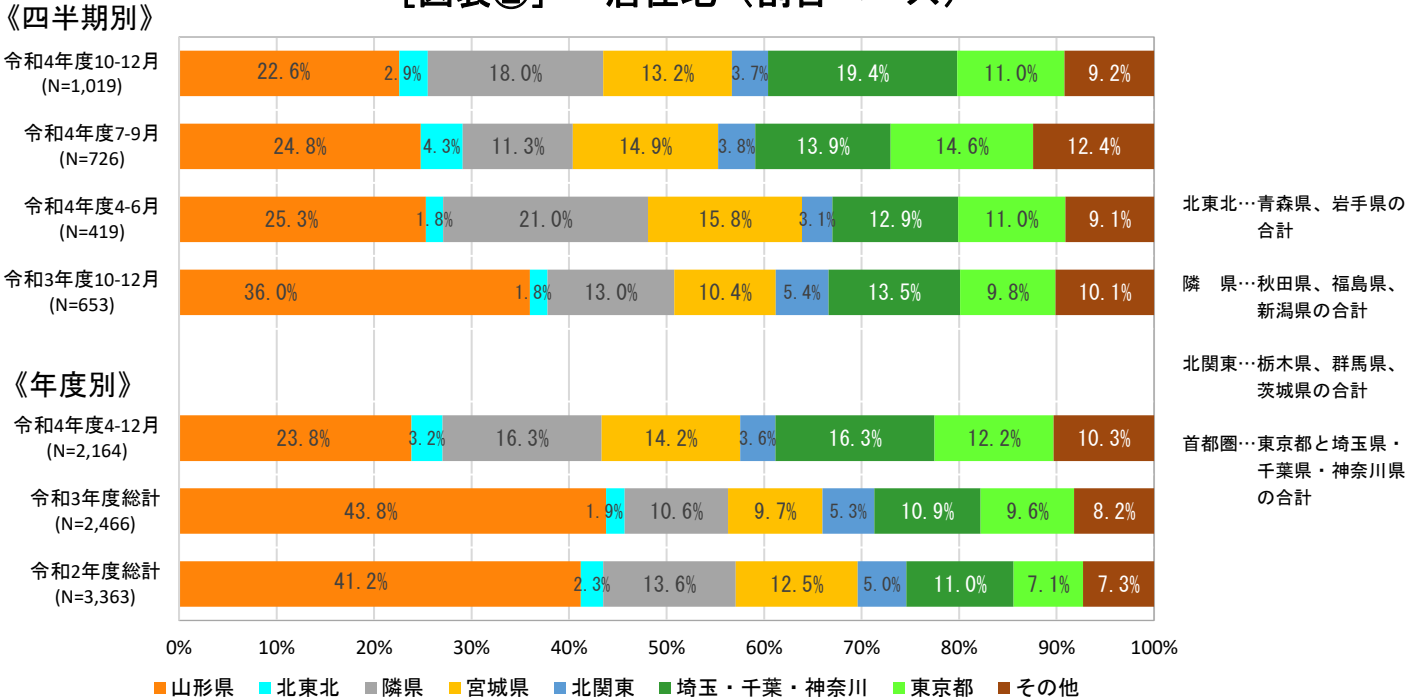
### 【調査方法】（協力：静岡県立大学渡邊研究室）

- ・宿泊・観光施設等でQR付きカードを送付し、観光客がネット上で回答。

《四半期別》 **【図表①】 年齢（割合ベース）**



**【図表②】 居住地（割合ベース）**



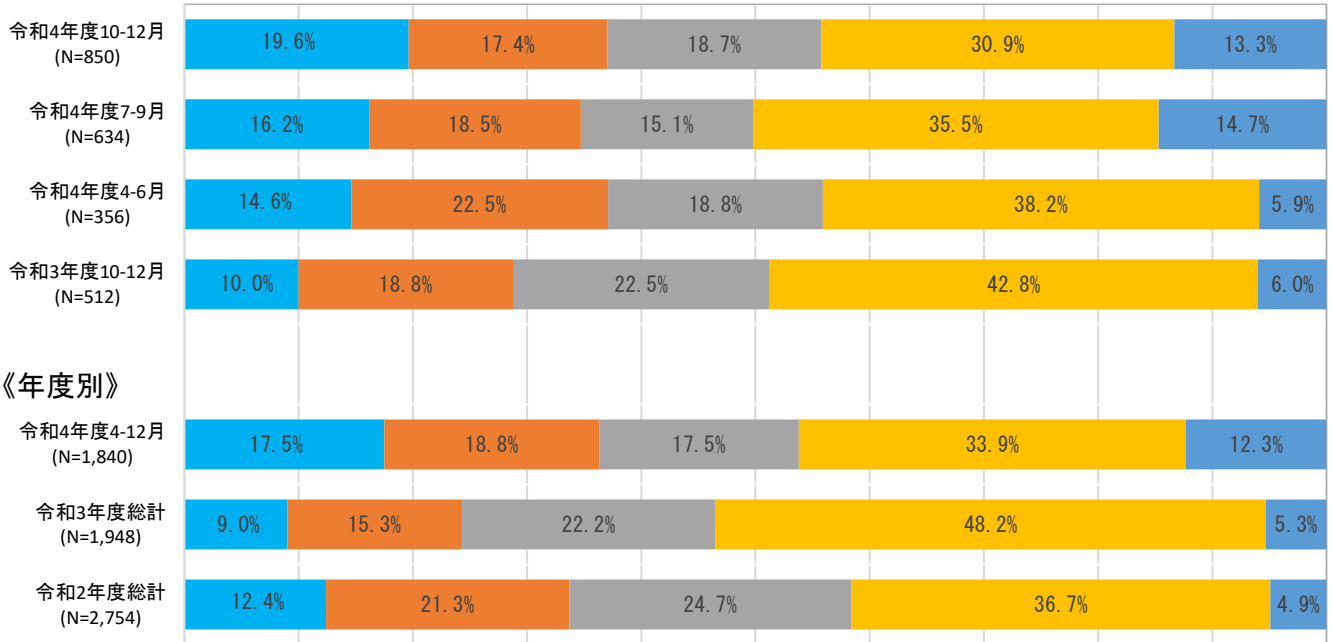
埼玉・千葉・神奈川と東京都の合計を首都圏としています。

【都道府県別集計】（令和4年10-12月）

順位	居住地	人数 (割合)	順位	居住地	人数 (割合)
1	山形県	230 (22.6%)	7	埼玉県	52 (5.1%)
2	宮城県	134 (13.2%)	8	千葉県	51 (5.0%)
3	東京都	112 (11.0%)	9	福島県	45 (4.4%)
4	神奈川県	95 (9.3%)	10	茨城県	19 (1.9%)
5	新潟県	74 (7.3%)		その他	143 (14.0%)
6	秋田県	64 (6.3%)		計	1,019 (100.0%)

**[図表③] 一人当たりの予算額〔宿泊費〕 (割合ベース)**

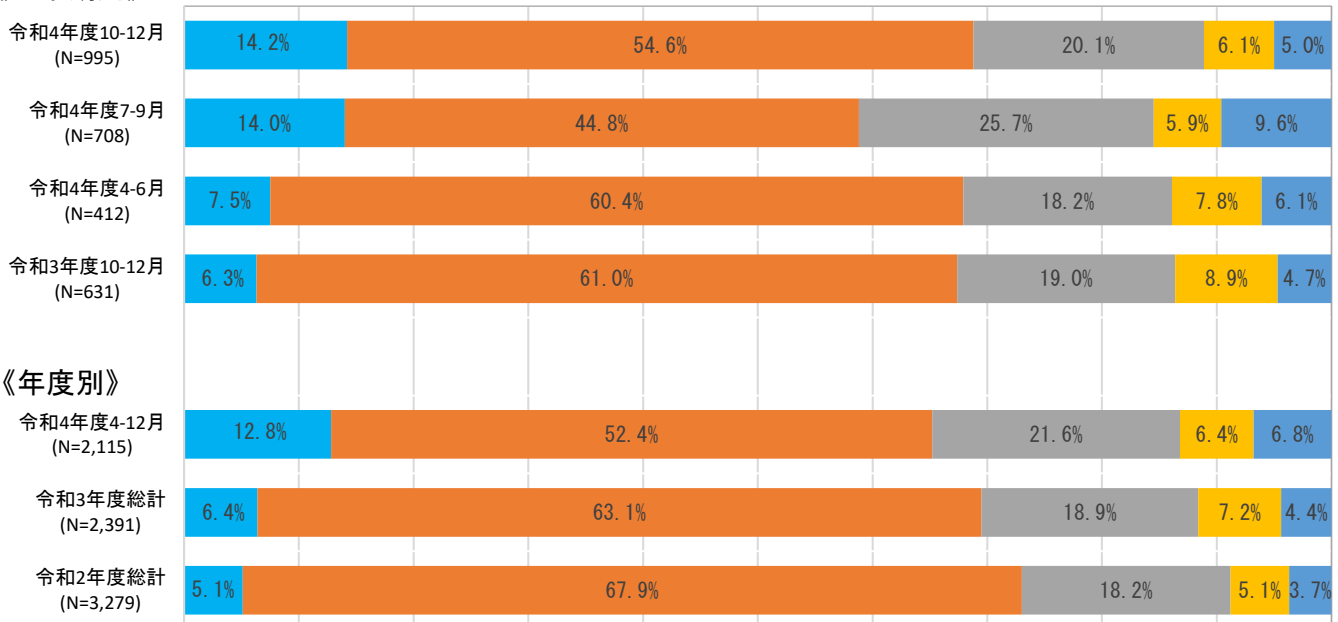
《四半期別》



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%  
 ■ 10,000円以下 ■ 10,001~15,000円 ■ 15,001~20,000円 ■ 20,001円以上 ■ 該当なし

**[図表④] 旅行日数 (割合ベース)**

《四半期別》



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%  
 ■ 日帰り ■ 1泊2日 ■ 2泊3日 ■ 3泊4日 ■ 4泊以上